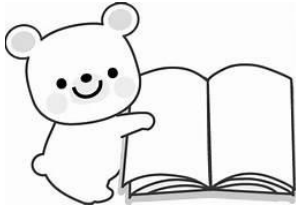


# ほんじつ ～本日のおすすめの本⑫～ ほん



## 『いのちのいれもの』

こすげまさお さく ・ ほりかわ まこと え  
小菅正夫 作 ・ 堀川 真 絵

しゅつぱん 出版:サンマーク出版(2011年初版)

\*この本は 絵本の書棚にあります。(貸出可能)

ある日、トコちゃん一家は、動物園へ行きました。そこには、たくさんの動物たちがいました。動物たちはみな、とても元気ですが、アムールトラのイチだけは、元気がなく、やせこけていました。

トコちゃんはイチのことがとても心配になり、また動物園へ行きました。ところが、イチは病気で死んでしまい、おりの前には「喪中」と書かれたはりがみがかはられていました。

トコちゃんは、とても悲しくなりました。

そこへ、動物園の園長さんがやってきて、イチの死についておはなしをしてくれます。

(本文より)

「イチには赤ちゃんができなかったけど、それでも、イチは最後の最後まで、いっしょうけんめいに生きて、いのちをかがやかせていたさ。40億年つなぎつづけてきたいのちを、自分だけのものではないのちを、投げ出すことなく、必死になって次のいれものにたくそうとしてがんばってきたんだ。……」

いのちをかがやかせる・・・ということは、どういうことか？

いのちをつなげる・・・ということは、どういうことか？

自分だけのものではないのち・・・とは、どういうことか？

きつとみなさんも、心に響く言葉に出会えると思います。



自分で読むなら・・・

3年生から

読んでもらうなら・・・

1年生から



3年生の国語の教科書「本の世界を広げよう」の単元で紹介されている絵本ですが、どの学年にも読んでほしいと思います。自分の命についてじっくり考えさせられる本です。今年度初めて入った絵本です。ぜひ、読んでみてください。